

住友電設グループ中期経営計画

# Vision19

(2016－2019年度)

**テーマ** Quality No.1を目指し、進化する企業を創造しよう！

**業績目標** 経常利益率6%以上、経常利益額80億円以上

V15策定時計画		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
経常利益率	6%以上	5.8%	6.2%	5.6%	6.2%
経常利益	80億円以上	89.6億円	100.1億円	80.8億円	91.6億円
自己資本比率	50%以上	39.6%	39.4%	45.5%	46.6%

**安定的に経常利益80億円以上を全年度において達成**

重点施策の成果

**「経営基盤強化」**

- ・工事採算改善の進展
- ・グループ総合力強化
- ・教育体系確立

**「市場変化への対応」**

- ・海外事業の新拠点
- ・全社営業体制の確立
- ・再生可能エネルギー市場への展開
- ・SEIとの協業

## Vision19 (2016~2019年度)

### 五輪向け建設投資堅調

#### 東京五輪

競技場、関連施設

#### 首都圏再開発

オフィス、商業施設、物流、ホテル（インバウンド）

#### 交通インフラ

羽田、山手線新駅、リニア、高速道路

#### 再生・電力

太陽光・バイオマス・地熱・風力、送・配電分離、小売自由化

#### 情報通信

通信インフラ、五輪／IT無線化、クラウド投資、IoT

#### 東南アジア

直近は減速も、中期的には経済成長に伴う市場拡大

## 2020年度以降

### 建設投資は平準化

- ◆五輪特需反動
- ◆先送り投資再開
- ◆インフラ整備の質的变化  
⇒新設から維持更新需要
- ◆環境、再生エネルギー需要拡大

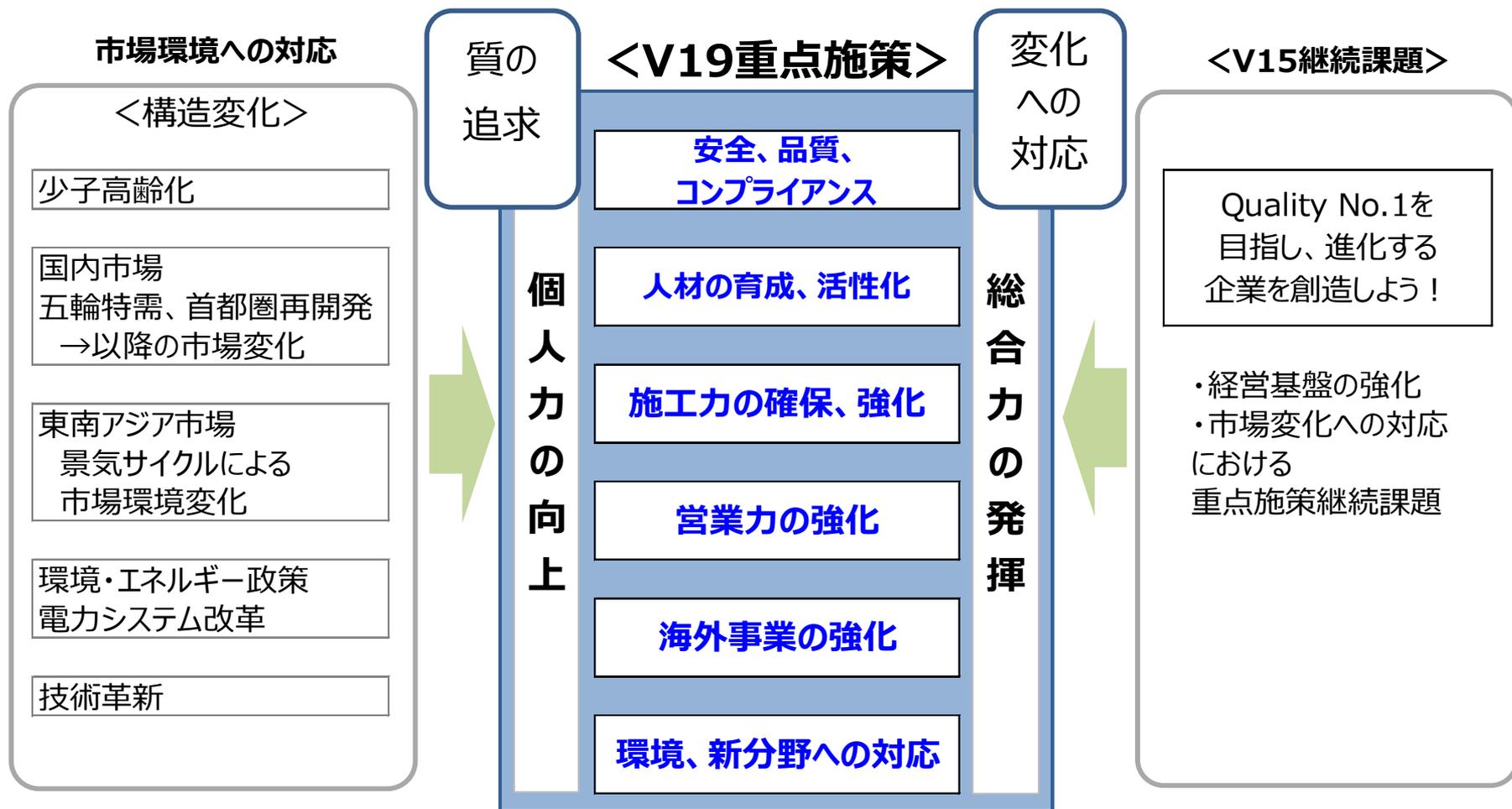
当社グループがこれまで取り組んでまいりました、「質」にこだわる経営をより一層磨き、取引先含め、すべてのステークホルダーから将来に亘って選ばれ続けるエンジニアリング企業となるため、更なる飛躍を遂げなければならないと考えております。

そこで新中期経営計画 Vision19 のテーマを以下に定め、グループ一体となって取り組んでまいります。

## 質の高いエンジニアリング企業へ 更なる飛躍を！

～ 個人力の向上と総合力の発揮 ～

Vision19では、更なる質を追求するため、個々人の基礎能力、問題解決力のアップを目指す「個人力の向上」と、社会・市場環境の変化に対応するため、社内及びグループ各社の「総合力の発揮」を柱とする重点施策に取り組んでまいります。



## ① 安全、品質、コンプライアンス

事業経営の全ての基本であり、最優先の課題である安全・品質の確保に真摯に取り組んでまいります。併せて、「利益とコンプライアンスが対立するような場合には、必ずコンプライアンスを優先する」方針のもと、コンプライアンスの徹底に取り組んでまいります。

- 1) 安全、品質の確保
- 2) コンプライアンスの徹底

## ② 人材の育成、活性化

当社グループは、創造力豊かな社員を育て活力と潤いのある企業を目指し、社員教育の更なる充実と、働きやすい職場作りを進めてまいります。

- 1) V15教育体系の継続とプログラムの更なる充実
- 2) ワーク・ライフバランス施策の再構築
- 3) 「女性活躍」施策の推進

## ③ 施工力の確保、強化

堅調な首都圏市場やエネルギー環境市場などへの需要にこたえるべく、当社グループの総合力を発揮し、顧客満足度の高いエンジニアリングサービスを提供してまいります。

- 1) 人材の確保と部門を超えた機動的配置（首都圏対応強化）
- 2) 生産性の向上、コストダウン

## ④ 営業力の強化

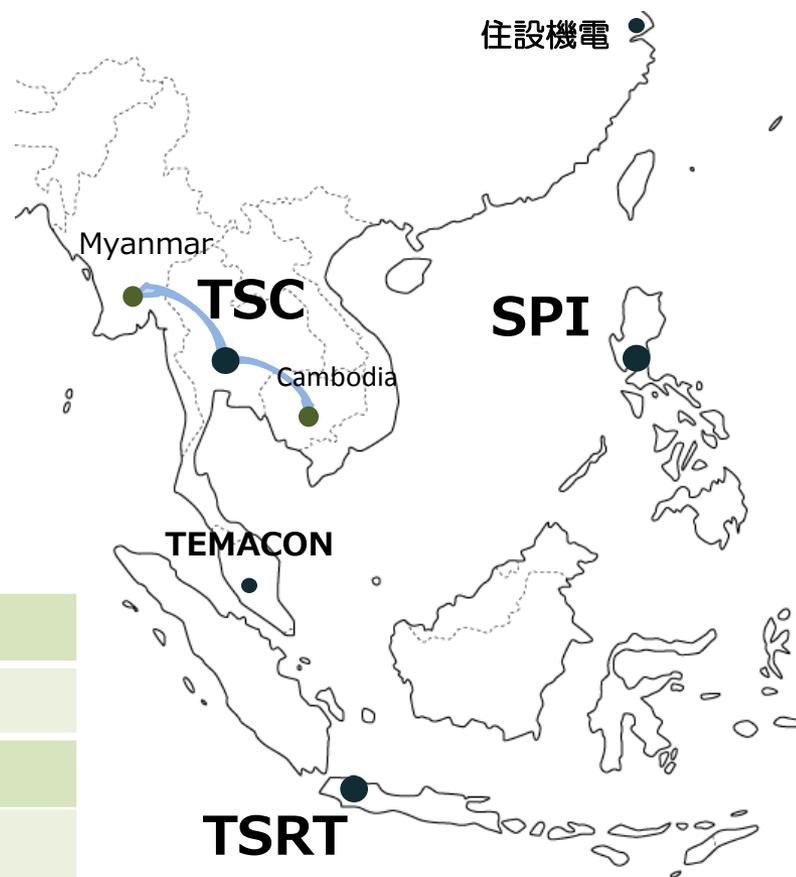
変化を先取りし、ニーズに応え、顧客満足度の高い提案ができる営業活動を実践してまいります。

- 1) 技術提案力の強化
- 2) メンテ、リニューアルの強化
- 3) 首都圏需要への取組み

## ⑤ 海外事業の強化

当社グループの強みでもあります海外事業を強化すべく、事業基盤をさらに強固にするとともに、新たな市場への展開を図ってまいります。

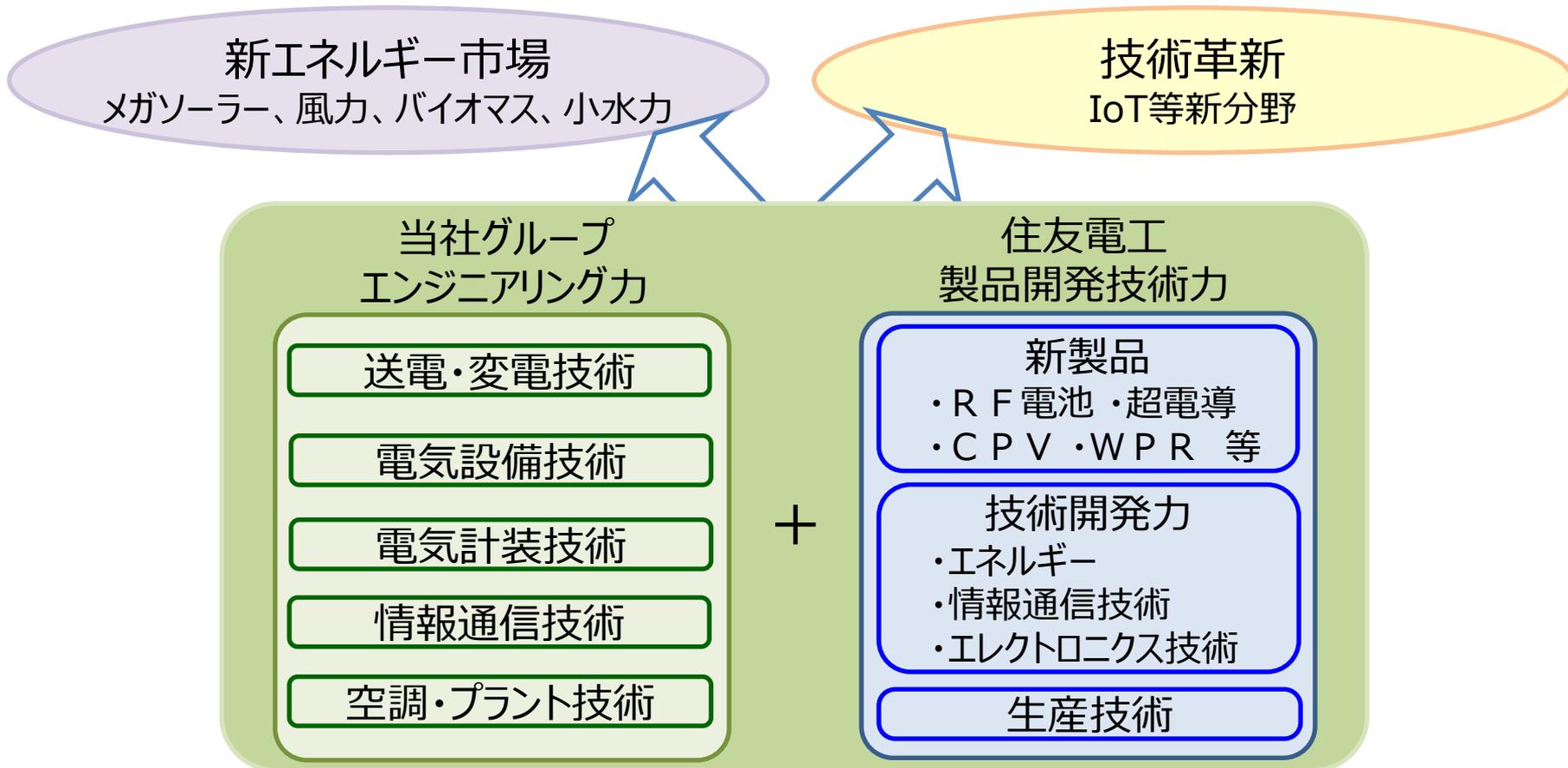
- 1) 3大拠点における事業基盤の更なる強化  
(インドネシア、タイ、フィリピン)
- 2) 事業領域の拡大



3大拠点会社	設立
P.T.TAIYO SINAR RAYA TEKNIK (インドネシア)	1977年
THAI SEMCON CO.,LTD. (タイ)	1985年
SUMISETSU PHILIPPINES INC. (フィリピン)	1991年

## ⑥ 環境、新分野への対応

新エネルギー市場への対応を強化するとともに、技術変化に対応すべく、当社グループの豊富な技術の組合せにより、新たな分野へ展開してまいります。



CPV(Concentration Photovoltaic)集光型太陽光発電システム WPR (Wind Profiler radar) 風向・風速観測装置

## <連結売上高・経常利益（率）>

	2015年度	2016年度公表	Vision19 2019年度目標
売上高	1,469億円	1,400億円	1,650億円
経常利益 (経常利益率)	92億円 (6.2%)	85億円 (6.1%)	125億円 (7.5%以上)

## 業績予想等に関する注意事項

本資料に記載されているデータや業績予想は、当社が現時点において入手している情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と異なる場合があります。

以上